

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	平成25年8月13日
【四半期会計期間】	第29期第3四半期（自平成25年4月1日至平成25年6月30日）
【会社名】	株式会社C S Sホールディングス
【英訳名】	CSS Holdings,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 林田 喜一郎
【本店の所在の場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
【電話番号】	03(6661)7840（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員財務室長 岩見 元志
【最寄りの連絡場所】	東京都中央区日本橋小伝馬町10番1号
【電話番号】	03(6661)7840（代表）
【事務連絡者氏名】	執行役員財務室長 岩見 元志
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 （東京都中央区日本橋兜町2番1号）

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第28期 第3四半期連結 累計期間	第29期 第3四半期連結 累計期間	第28期
会計期間	自平成23年10月1日 至平成24年6月30日	自平成24年10月1日 至平成25年6月30日	自平成23年10月1日 至平成24年9月30日
売上高(千円)	9,482,101	9,365,919	12,549,044
経常利益(千円)	217,309	150,391	91,373
四半期(当期)純利益(千円)	166,133	130,750	55,717
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	183,308	198,118	68,210
純資産額(千円)	1,733,232	1,791,029	1,618,134
総資産額(千円)	7,408,816	6,289,322	6,918,048
1株当たり四半期(当期)純利益 金額(円)	3,293.17	2,591.80	1,104.45
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益金額(円)	3,263.22	2,568.23	1,094.41
自己資本比率(%)	23.4	28.5	23.4

回次	第28期 第3四半期連結 会計期間	第29期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	自平成25年4月1日 至平成25年6月30日
1株当たり四半期純利益金額又は 1株当たり四半期純損失金額() (円)	555.66	975.28

(注) 1. 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には消費税等は含まれておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容については重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスク、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについては重要な変更はありません。

2【経営上の重要な契約等】

当第3四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1)業績の状況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、1月～3月期の実質GDP、前期比年率4.1%の高成長を受け、景気は底入れから回復軌道にあると言えます。

6月にはアベノミクスのいわゆる「第三の矢」となる「日本再興戦略 - JAPAN is BACK」も公表され、日本経済の再生とデフレからの脱却へ向けての道筋が示されています。

参議員選挙の結果は、これまでの安倍政権の成果を裏付けるかのごとく、自民党の圧勝という結果となり、ねじれ国会の解消と共に、長期政権への足掛かりとなりました。

このような状況下、我が国の経済は、「日本経済再生に向けた緊急経済対策」で追加された公共事業の執行も本格化する中で、円安の効果などから輸出が増加を続けること、円安に伴う企業収益の改善が設備投資を押し上げること、2012年度の大型補正予算の執行に伴い公共投資の増勢が強まること、夏の民間賞与が3年ぶりに前年を上回るなど消費者マインドの改善が引き続き個人消費を下支えすること、などから3四半期連続のプラス成長がみこまれております。

当社グループを取り巻く環境においては、ホテル業界、金融機関、大型商業施設等、各顧客先も徐々にではありますが回復基調が窺われることから、各事業会社とも、これら既存顧客からの収入の拡大に努めてまいりました。

また、費用については景気動向に連動した採用コストの上昇、円安に起因する仕入コストの上昇等、圧迫要因が生じておりますが、業務の効率化と、販売管理費等管理可能費の圧縮をはかることで引き続き収益の確保に傾注いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における連結売上高9,365百万円（前年同期比1.2%減）、連結営業利益は225百万円（前年同期比7.9%減）、連結経常利益は150百万円（前年同期比30.8%減）、連結四半期純利益は130百万円（前年同期比21.3%減）となりました。

当第3四半期連結累計期間におけるセグメント別の業績の概況は次のとおりであります。

スチュワード管理事業 株式会社セントラルサービスシステム（CSS）

当事業は、ホテル・レストランにおける食器洗浄を中心としたスチュワード管理を全国展開している当社グループの中核会社です。

当第3四半期連結累計期間においては、新規案件4件の受託に加え、景気回復基調の流れの中で、当事業の主要顧客であるホテルが業績回復傾向にあることから、入客増を反映して前年を上回る売上を確保することができました。また、費用においては、稼働状況に合わせた効率的な人員配置に努めることで人件費の圧縮を図りました。

この結果、売上高は3,916百万円（前年同期比5.6%増）、営業利益は144百万円（前年同期比62.7%増）となりました。

総合給食事業 株式会社センダン（SDN）

当事業は、従業員食堂運営を中心にレストラン運営などフードサービスに係る総合給食事業を全国展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、1件の新規案件を受託したものの、受託契約終了案件の影響もあり、売上については伸び悩みの状況となりました。費用においては、円安の影響による使用食材の高騰を原価調整及びロス管理を徹底することで吸収しつつ、継続的に計画的な人員配置を行うことで、効率的な執行に努めました。

この結果、売上高は1,681百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益は32百万円（前年同期比8.3%減）となりました。

映像・音響機器等販売施工事業 東洋メディアリンクス株式会社（TML）

当事業は、日本のBGMのパイオニア企業としての音楽関連事業と、セキュリティー・システム、映像・音響システムの販売・設計・施工事業を幅広い顧客層に展開している当社グループの中核会社です。

当第3四半期連結累計期間においては、金融機関を中心とした営業は好調に推移したものの、その他の一般法人を対象とした営業が苦戦したことに加え、電設部門縮小の影響から、売上については前年を下回ることとなりました。

収益については、金融機関からの受注案件の粗利益の向上が貢献したことと併せて、人件費及び管理可能費の効率的な執行と圧縮を行い、その確保に努めました。

この結果、売上高は2,357百万円（前年同期比9.6%減）、営業利益は47百万円（前年同期比35.9%減）となりました。

音響・放送機器等販売事業 音響特機株式会社（OTK）

当事業は、大型スピーカーやアンプ等のプロフェッショナル向け音響機器の輸入及び販売事業を展開しております。

当第3四半期連結累計期間においては、各種展示会への出展を行い、販売促進活動を推進してまいりました。また、商品知識向上へ向けた研修会の開催や海外メーカーとの情報交換を通じ、代理店機能の更なる強化を図ってまいりました。納入先としては、官公庁・大型商業施設・放送局・テーマパーク等への実績を積み上げましたが、売上については前年を下回る結果となりました。費用については、円安が輸入品の仕入れ原価を押し上げる結果となっていることから、販売管理費を精査しながら、効率的な執行に努めました。

この結果、売上高は1,448百万円（前年同期比5.5%減）、営業利益は21百万円（前年同期比62.2%減）となりました。

総務・人事・経理管理事業 株式会社ＣＳＳビジネスサポート（CBS）

当事業は、総務・人事・経理業務をグループ各社より受託しております。

当第3四半期連結累計期間においては、外部企業複数社の受託を継続するとともに、グループ各社の管理業務の効率化を推進しました。

この結果、業績は計画どおり推移いたしました。

（２）財政状況の状況

当第3四半期における総資産は、6,289百万円で、前連結会計年度に対し628百万円の減少となりました。その主因は、現金及び預金の減少444百万円、売上債権の減少231百万円によるものであります。

負債の部は、借入金の減少607百万円などにより801百万円減少しました。

純資産は、172百万円増加し、1,791百万円となりました。

（３）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第3四半期連結累計期間において、当社グループが対応すべき課題について重要な変更はありません。

（４）研究開発活動

該当事項はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	207,760
計	207,760

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年6月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成25年8月13日)	上場金融商品取引所名又 は登録認可金融商品取引 業協会名	内容
普通株式	52,856	52,856	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株制度は採用しておりま せん。
計	52,856	52,856		

(注) 提出日現在の発行数には、平成25年8月1日からこの四半期報告書提出日までの新株予約権の行使により発行された株式数は含まれておりません。

(2)【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年4月1日～ 平成25年6月30日	-	52,856	-	393,562	-	117,699

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日（平成25年3月31日）に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

平成25年6月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,408	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 50,448	50,448	-
発行済株式総数	52,856	-	-
総株主の議決権	-	50,448	-

【自己株式等】

平成25年6月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数 に対する所有株 式数の割合 (%)
(株)C S Sホールディングス	東京都中央区 日本橋小伝馬町 10番1号	2,408	-	2,408	4.56
計	-	2,408	-	2,408	4.56

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（平成25年4月1日から平成25年6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月1日から平成25年6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,311,793	1,867,050
受取手形及び売掛金	1,535,192	1,303,454
商品及び製品	247,717	258,917
仕掛品	87,715	94,225
原材料及び貯蔵品	14,857	18,890
未収還付法人税等	15,066	18,944
繰延税金資産	21,188	23,547
その他	70,558	230,909
貸倒引当金	960	644
流動資産合計	4,303,128	3,815,295
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	748,783	780,701
減価償却累計額	137,595	226,659
建物及び構築物(純額)	611,187	554,042
土地	953,028	953,028
その他	71,081	91,911
減価償却累計額	46,413	54,712
その他(純額)	24,668	37,199
有形固定資産合計	1,588,884	1,544,270
無形固定資産		
その他	63,416	78,130
無形固定資産合計	63,416	78,130
投資その他の資産		
投資有価証券	345,538	416,120
長期預金	290,000	190,000
その他	327,079	245,505
投資その他の資産合計	962,618	851,626
固定資産合計	2,614,919	2,474,026
資産合計	6,918,048	6,289,322

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年9月30日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	557,553	463,791
短期借入金	1,290,000	1,120,000
1年内償還予定の社債	150,000	120,000
1年内返済予定の長期借入金	673,662	575,727
未払金	553,220	537,281
未払法人税等	26,279	22,240
賞与引当金	121,880	133,330
資産除去債務	20,000	-
その他	149,206	158,028
流動負債合計	3,541,800	3,130,400
固定負債		
社債	120,000	30,000
長期借入金	1,384,708	1,045,258
繰延税金負債	20,303	59,146
退職給付引当金	185,877	169,929
長期未払金	22,934	22,544
資産除去債務	721	721
負ののれん	2,772	196
その他	20,794	40,095
固定負債合計	1,758,112	1,367,892
負債合計	5,299,913	4,498,293
純資産の部		
株主資本		
資本金	393,562	393,562
資本剰余金	277,699	277,699
利益剰余金	1,049,550	1,155,077
自己株式	98,168	98,168
株主資本合計	1,622,644	1,728,171
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,509	62,858
その他の包括利益累計額合計	4,509	62,858
純資産合計	1,618,134	1,791,029
負債純資産合計	6,918,048	6,289,322

(2) 【 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 】
【 四半期連結損益計算書 】
【 第 3 四半期連結累計期間 】

(単位 : 千円)

	前第 3 四半期連結累計期間 (自 平成23年10月 1 日 至 平成24年 6 月30日)	当第 3 四半期連結累計期間 (自 平成24年10月 1 日 至 平成25年 6 月30日)
売上高	9,482,101	9,365,919
売上原価	7,863,309	7,767,461
売上総利益	1,618,791	1,598,458
販売費及び一般管理費	1,374,363	1,373,370
営業利益	244,428	225,088
営業外収益		
受取利息	1,326	781
受取配当金	5,893	6,465
持分法による投資利益	2,694	4,490
負ののれん償却額	3,567	2,575
その他	23,902	27,007
営業外収益合計	37,386	41,320
営業外費用		
支払利息	53,329	52,769
投資事業有限責任組合等出資金損失	757	1,117
支払手数料	-	45,820
その他	10,418	16,309
営業外費用合計	64,505	116,016
経常利益	217,309	150,391
特別利益		
固定資産売却益	-	10,881
投資有価証券売却益	-	13,886
特別利益合計	-	24,767
特別損失		
固定資産売却損	-	13
固定資産除却損	-	683
減損損失	5,242	-
投資有価証券評価損	633	-
適格退職年金制度終了損	14,877	-
特別損失合計	20,754	697
税金等調整前四半期純利益	196,555	174,462
法人税、住民税及び事業税	46,217	43,935
法人税等調整額	15,796	224
法人税等合計	30,421	43,711
少数株主損益調整前四半期純利益	166,133	130,750
四半期純利益	166,133	130,750

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	166,133	130,750
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	17,174	67,367
その他の包括利益合計	17,174	67,367
四半期包括利益	183,308	198,118
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	183,308	198,118

【連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更】

当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
(1) 連結の範囲の重要な変更 該当事項はありません。
(2) 持分法適用の範囲の重要な変更 該当事項はありません。

【注記事項】

(四半期連結損益計算書関係)

営業外費用に計上されている「支払手数料」は、取引銀行との間に設定されたシンジケートローンに関するアレンジメントフィー等を計上しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及び負ののれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
減価償却費	21,123千円	112,326千円
負ののれんの償却額	3,567	2,575

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成23年11月16日 取締役会	普通株式	5,044	100	平成23年9月30日	平成23年12月20日	利益剰余金

当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)

配当に関する事項

配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月19日 取締役会	普通株式	25,224	500	平成24年9月30日	平成24年12月20日	利益剰余金

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自平成23年10月1日至平成24年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注)3
	スチ ュード 管理 事業	総合給 食 事業	音響・放 送機器等 販売事業	映像・音 響機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1)外部顧 客に対す る売上高	3,709,499	1,661,639	1,498,354	2,603,730	9,473,224	8,876	9,482,101	-	9,482,101
(2)セグメ ント間の 内部売上 高又は振 替高	-	22	35,246	2,511	37,781	165,004	202,785	202,785	-
計	3,709,499	1,661,662	1,533,601	2,606,242	9,511,006	173,880	9,684,886	202,785	9,482,101
セグメン ト利益	88,886	35,214	55,599	74,406	254,106	6,934	261,041	16,612	244,428

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 16,612千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第3四半期連結累計期間(自平成24年10月1日至平成25年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期 連結 損益計算 書計上額 (注)3
	スチュ ワード管 理事業	総合給食 事業	音響・放 送機器等 販売事業	映像・音 響機器等 販売施工 事業	計				
売上高									
(1)外部顧 客に対す る売上高	3,915,424	1,680,697	1,404,205	2,353,992	9,354,319	11,600	9,365,919	-	9,365,919
(2)セグメ ント間の 内部売上 高又は振 替高	700	364	44,417	3,179	48,662	168,753	217,415	217,415	-
計	3,916,124	1,681,061	1,448,623	2,357,171	9,402,981	180,353	9,583,335	217,415	9,365,919
セグメン ト利益	144,623	32,282	21,024	47,705	245,636	19,481	265,118	40,029	225,088

(注)1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり総務・人事・経理管理事業を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額 40,029千円は、セグメント間取引消去によるものであります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自平成23年10月1日 至平成24年6月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成24年10月1日 至平成25年6月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益金額	3,293円17銭	2,591円80銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益金額(千円)	166,133	130,750
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る四半期純利益金額(千円)	166,133	130,750
普通株式の期中平均株式数(株)	50,448	50,448
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額	3,263円22銭	2,568円23銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)	-	-
普通株式増加数(株)	463	463
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要	-	-

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年 8月12日

株式会社 C S S ホールディングス
取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 原田 清 朗 印

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 田 中 量 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社 C S S ホールディングスの平成24年10月1日から平成25年 9月30日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（平成25年 4月 1日から平成25年 6月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（平成24年10月 1日から平成25年 6月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社 C S S ホールディングス及び連結子会社の平成25年 6月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。

2. 四半期連結財務諸表の範囲には X B R L データ自体は含まれていません。